



産業精神保健研究機構

Research Institute of Occupational Mental Health

産業精神保健研究機構(リオム)研究会のご案内

このたびは一橋大学経済研究所長の小塩隆士教授をお招きし、経済学のお立場から WHO-HPQ 日本語版を活用した最新論文や ADHD に関する話題についてご講演いただきます。

小塩隆士教授と RIOMH 代表理事の宮木は、平成 21 年度から 5 年間実施された文部科学省の大型研究プロジェクト：新学術領域研究「現代社会の階層化の機構理解と格差の制御・社会科学の融合（略称名「社会階層と健康」）」という研究班で分担研究メンバーであり、その成果は「社会と健康 ---健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ」（東京大学出版会）にまとめられています。また小塩教授は RIOMH の会員として WHO-HPQ 日本語版の活用を進めておられ、現在も宮木らと共同研究を進めています。本年 8 月 30 日には、小塩教授と宮木とのプレゼンティーズム指標 WHO-HPQ を活用した共同研究の成果の一部が、国際誌 *Journal of Occupational Health* に共著論文として受理されましたので、その概要についてご講演いただく予定です。プレゼンティーズム研究の最前線の一端に触れる貴重な機会かと思しますので、ご都合のつく方は奮ってご参加ください。

【テーマ】 「WHO-HPQ 最新論文の紹介と ADHD に関する話題」

【開催日時】 2017 年 10 月 24 日 17:00 ～ 18:00 (16:30 開場)

【会場】 国際医療福祉大学青山キャンパス B 教室
(東京都港区青山 1-3-3 青山 1 丁目タワー)

※参加申し込み・参加費ともに不要です

【小塩隆士教授 ご略歴】

東京大学教養学部卒業後、経済企画庁（内閣府）、J.P.Morgan 勤務等を経て、2005 年より神戸大学大学院経済学研究科 教授、2009 年より一橋大学経済研究所 教授、2011 年より一橋大学経済研究所 機構長、2017 年より一橋大学経済研究所 所長。大阪大学博士（国際公共政策）。

専門は公共経済学。医療分野では、公衆衛生、社会疫学、産業医学のテーマに関心がある。子供期の社会経済的環境の健康への影響、職場環境とストレスとの関係、介護者のメンタルヘルスの決定要因、社会関係資本と健康との関係など、医学と経済学・社会学が「相互乗り入れ」できるテーマの論文執筆が最近の主な仕事。著書に、『再分配の厚生分析』（日本評論社 2010）『「幸せ」の決まり方』（日本経済新聞出版社 2014）、『公共経済学』（東洋経済新報社 2016）等多数。

最近のニュース

2017/ 8/11 宮木理事の発達障害者支援に関するコラムが日本経済新聞に掲載されました。

同紙「私見卓見」欄に、宮木らの研究成果や大学での取り組みを紹介したコラム「発達障害者が力生かせる教育を」が掲載。<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO19876220Q7A810C1SHE000/>

2017/ 7/31 宮木理事の WHO-HPQ を使った東大の尾形教授らの研究成果が日経に掲載されました
日本経済新聞に、宮木訳のプレゼンティーズム指標 WHO-HPQ を使った東大の尾形教授らの研究成果に関する記事が掲載されました。尾形教授は経産省のプロジェクトとして WHO-HPQ を用いた大規模調査を推進しています。

2017/ 6/27 宮木理事らの研究成果や障害者就労支援活動について、東京大学出版会から執筆依頼がありました

自閉スペクトラム症傾向が日本人でも連続的に分布するという Autism 誌に受理された我々の成果や発達障害者の就労支援活動、また普通に働いている方たちへの応用の試みについて

「発達障害者の就労支援とプレゼンティーズム---誰もが力を発揮できる本領発揮社会に向けて」
(仮) という一般書として出版するオファーを東京大学出版会からいただきました。

2017/ 5/31 鈴木理事らによる論文（責任著者宮木）が Autism 誌に受理されました

自閉症傾向が連続的に分布するという Wing のスペクトラム仮説（米国の診断基準 DSM-5 でも全面的に採択され従来の診断基準が大幅に変更されることとなった、現在の自閉症に対する標準的考え方が日本人でも当てはまることを、大規模疫学研究（n=2075）により初めて実証した我々の研究が発達障害・自閉症領域でのトップジャーナルの一つである Autism 誌にアクセプトされました。自閉症傾向が連続分布するという今回の成果は、誰もが多かれ少なかれ発達障害傾向を持ち、決して他人事ではないというメッセージで当事者の方にも励みになる結果と思われま

事務局よりお知らせ

我々 RIOMH のロゴ・認証マークができました！

(仏教では清らかな心や慈悲の象徴である蓮の花がモチーフになっています。)

これらはニュースレターや各種広報活動、「働き方改革」

に関連する事業として計画中的 RIOMH 認証制度の「認証マーク」として使用される予定です。



大学事務局：成田市公津の杜 4-3 国際医療福祉大学医学部公衆衛生学 WHO-HPQ 日本語版事務局

東京事務所：文京区白山 4-37-4 産業精神保健研究機構

E-mail : riomh-staff@umin.ac.jp Website : <http://riomh.umin.jp/>

© Research Institute of Occupational Mental Health